

資料No.2-1

平成30年度 村上市立図書館の活動評価

[基本評価]

① 利用状況

項目	28年度	29年度	30年度	協議会評価	備考	参考増減(%)
入館者数(人)	120,101	117,092	125,472	A	中央館のみ	7.2
個人貸出冊数(冊)	157,848	156,656	156,343	B		-0.2
貸出人数(人)	51,472	50,552	50,248	B		-0.6
予約件数(人)	10,873	11,069	10,316	C		-6.8
新規登録者数(人)	740	655	704	A	中央館のみ	7.5
登録者数(人)	14,984	14,375	15,035	A		4.6
インターネット利用数(件)	1,836	1,843	2,086	AA	中央館のみ	13.2
開館日数(日)	289	290	288		中央館のみ	-0.7
郷土資料受入点数(点)	213	244	155	D		-36.5
利用満足度(%) (全体的な満足度) (たいへん満足+やや満足)	80.58	79.26	78.39	B	中央館のみ 回答者数:199人 うち たいへん満足 101人 やや満足 55人	-1.1

②管理運営費(各年度の決算額・千円)

項目	28年度	29年度	30年度	
中央図書館経費	14,608	14,939	15,168	
地区図書館・分室経費	2,049	3,045	2,044	
(うち資料費)	(1,800)	(2,800)	(1,799)	
図書館ネットワーク等経費	40,631	40,835	41,500	
(うち資料費)	(7,500)	(7,608)	(7,500)	

[重点事項評価]

重点事項 1	課題解決に向けた資料の充実を図る
--------	------------------

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

- ①幅広い分野の最新情報を提供できる資料収集を行う。
- ②「村上市子ども読書活動推進計画」に基づき、全館で児童書の充実を図る。

《事業実績》

- ①平成30年度において5,287冊（一般書3,479冊、児童書1,808冊）の図書を購入した。
（H29年度:6,101冊（一般書3,958冊、児童書2,143冊））
- ②平成30年度において1,808冊の児童書を購入し、中央図書館1,236冊、朝日図書館163冊、荒川図書室148冊、神林図書室129冊、山北図書室132冊を配置した。
（H29年度:2,143冊（中央1,198冊、朝日279冊、荒川224冊、神林229冊、山北213冊））

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	図書購入については、計画的にほぼ全額予算を執行した。地区館分の予算が削減されたものの利用ニーズの高い資料を加味したうえで、どの分類ももれなく購入した。
②	A	予算削減により購入冊数が昨年度との比較で減少しているが、課題図書や、推奨図書など積極的に購入し、利用者のニーズに応えつつ、子どもの成長に見合った図書の整備にも努めた。

[重点事項評価]

重点事項 2

地域資料、行政資料の収集、保存、活用に努める

○重点事項達成に係る事業 : 図書館資料整備事業

《事業概要》

①地域資料、行政資料の収集整備を行う。

《事業実績》

①地域資料、行政資料については、新潟県及び村上市岩船郡に関する資料155冊を受け入れた。
(H29年度:244冊(購入19冊、寄贈225冊)受け入れ。)

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	B	郷土資料の購入12冊、寄贈143冊と受入件数は前年度を下回ったものの、出版された資料はほぼ収集し所蔵した。

[重点事項評価]

重点事項 3

図書館ネットワークを活用して、利便性の向上を図る

○重点事項達成に係る事業 : 図書館ネットワーク等事業
移動図書館サービス事業

《事業概要》

- ① ネットワークシステムにより一体的な書誌情報、利用者情報管理を行う。
- ② インターネットサービスにより利用者の利便性の向上を図る。
- ③ 団体貸出、相互貸借により所蔵資料の活用と利用者の利便性を図る。
- ④ 村上市岩船郡内を定期巡回して貸出サービスを提供する。

《事業実績》

- ①平成30年11月に図書館ネットワークシステムの更新を実施。
また、毎月館内整理日を利用してシステム管理委託業者と協議を行い、システムのメンテナンスを実施している。
- ②中央図書館内にインターネット開放端末(3台)を設置しており、平成30年度 2,086 回の利用があった。
また、ホームページからの予約受付が全体の6割を占めている。
- ③団体貸出については、平成30年度 全体で 923 件、 13,790 冊の貸出を行った。1年間の長期貸出は、小学校 4校に各200冊ずつ貸出を行い、定期貸出は、13団体に毎月30冊ずつ、4団体には毎月20冊ずつの貸出を行った。
- ④118箇所のステーションを巡回し、利用者 2,265人、貸出冊数 8,397冊の利用があった。

＜協議会における事業評価＞

事業	評価	評価理由
①	AA	業務に支障が出ないように対応しており、11月にネットワークシステムを更新したことにより、さらに個人情報等のセキュリティが強化された。また、荒川・山北地区館のセルフ貸出機新設に向けた仕様の準備も行った。
②	A	インターネットの利用については、前年度と比較して増加傾向にあり、検索ツールを持たない利用者へのレファレンス手法の一部として活用されている。中でも小中学生の調べ学習に利用されていることも多く、安心して利用できる環境を図書館が提供し、一定の役割を担っていると考えている。
③	A	団体貸出については、前年度と比較して貸出件数、冊数ともに増加している。学校への長期貸出件数の減少については、例年利用している学校が統廃合を控えていたため、減少となったが、長期から30冊の随時貸出に切り替えて利用は継続していた。また、昨年に引き続きボランティア団体への貸出は増加傾向にある。
④	A	移動図書館については、昨年度と比較して全体的には微減となった。原因としては車両故障による運休があったことによるもの。移動図書館の周知については運行地域全戸へ年間時刻表を配布し、一部の地区においては運行前日及び当日に告知端末を活用して周知している。市内の人口減少に対し、移動図書館の利用についての減少は緩やかであり、移動図書館としての役割は果たしていると考えられる。

[重点事項評価]

重点事項 4

積極的な広報や工夫を凝らした事業の実施により、利用の拡大を図る

○重点事項達成に係る事業 : 図書館サービス事業

《事業概要》

- ① 子ども読書活動推進計画関連事業の実施により、読書活動の推進を図る。
- ② 対象別サービスの提供や学校との連携を図り、読書活動の推進を図る。
- ③ 企画展示等により情報提供を行い、利用の拡大を図る。
- ④ 図書案内(レファレンス)サービスの提供により、利用者の利便性の向上を図る。

《事業実績》

①子育て支援として、各地区子育て支援センターへの図書の貸出や、山辺里・朝日子育て支援センターの2園で読み聞かせを定期的実施。また子育て支援センター利用者への個人貸出などを行った。小学生向けブックリスト『いい本見つけた2018年版』に掲載した図書を市内図書館(室)全館に配置。館内でのイベント等については、図書館所蔵資料を使った子ども向け工作教室や読み聞かせ等をボランティア団体の協力を得て実施した。

②村上市立図書館利用規程(身体障害者郵送貸出し)第21条に基づき申込者への個人郵送貸出を実施した。
粟島浦小中学校へ移動図書館車で訪問し読み聞かせや図書の貸出を実施。
また、市内小中学校への読み聞かせやブックトークを実施した。

③毎月テーマを設け工夫を凝らした企画展示を実施した。
また、前年度に引き続き、年間を通して一区画を利用した、リハビリテーション大学との共同企画を実施した。

④レファレンスの利用状況は前年度と比較して減少している。

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	子ども読書活動に関する企画・イベントによる啓発を行った。 また山辺里・朝日子育て支援センターへの読み聞かせ、個人貸出サービスを実施した。
②	A	図書館への来館が困難な利用者への郵送貸出を実施した。 小学校訪問による読み聞かせ、ブックトークを実施し、児童へ読書に対する関心を高めることができた。
③	A	調べ学習を支援する資料の展示や、読書の楽しみの発見と読書習慣につながる資料の選定、展示をしたことにより、貸出冊数は微減に留まった。
④	B	インターネットの利用については増加したが、レファレンス件数は前年度数を下回った。

[重点事項評価]

重点事項 5	様々な研修機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る
--------	----------------------------

○重点事項達成に係る事業 : 職員研修等

《事業概要》

様々な研究機会を確保し、図書館職員の資質の向上を図る。

《事業実績》

① 平成30年度は次の研修会に職員を派遣した

(外部研修)

- ・平成30年度新潟県図書館協会評議員会及び第1回公立図書館長会議(1人) 5月11日
- ・平成30年度新潟県公共図書館児童部門研究集会(2人) 6月5日
- ・平成30年度著作権セミナー(2人) 7月27日
- ・平成30年新潟県公共図書館協議会委員連絡協議会(1人) 11月28日
- ・新潟県公共図書館職員専門研修会(2人) 3月15日

(職場内研修)

- ・各地区図書室の図書館担当者端末操作研修会 随時
- ・その他読み聞かせ研修 随時

<協議会における事業評価>

事業	評価	評価理由
①	A	各分野の研修に参加したことにより職員のスキルアップにつながった。